

JA全農ウィークリー

4  
—  
5  
面

# 第2回和牛甲子園開催 飛騨高山高校(岐阜)が2連覇

2面



合併契約を結んだホクレンくみあい飼料(株)の北里清和社長(左)と雪印種苗(株)の高山光男社長(2面)



全農を訪れた卓球女子日本代表の石川佳純選手(全農所属)(6面)



第2回和牛甲子園総合評価部門で最優秀賞に輝き、優勝旗を授与される飛騨高山高校の生徒。左は全農の桑田義文常務(4-5面)

## 2 県特産品をPRし西日本豪雨災害からの復興応援(広島県本部)

### 3 日本産和牛提供しニューヨークの大使公邸で和食試食会(全農アメリカ株)

## TACを対象に作物別栽培技術研修を開催(耕種総合対策部)

## 6 石川佳純選手が全農本所を訪問 (広報部)

「JA青年組織 絆プロジェクト」を通じて  
被災県青年組織を支援(生活リテール部)

## 7 JAズームイン(JA安芸)

## 8 「おにぎりダイエット+ウォーク」を公開 (米穀部)

## JAタウンショップ紹介

おらほの逸品館(JA全農あきた)

**Web版JA全農ウィークリーは  
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

ホクレンくみあい飼料(株)と  
雪印種苗(株)が合併会社設立

News!



# ホクレンくみあい飼料(株)と雪印種苗(株)が合併会社設立

## 北海道苫小牧市に牛用新工場を建設

畜産生産部

合併契約を結んだホクレンくみあい飼料(株)の北里清和社長(左)と雪印種苗(株)の高山光男社長

### ホクレンくみあい飼料(株)と雪印種苗(株)との 合併契約締結式



#### 新会社の概要

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| (1) 社名    | ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社                  |
| (2) 本社所在地 | 北海道苫小牧市                            |
| (3) 設立時期  | 2019年4月                            |
| (4) 資本金   | 3億円                                |
| (5) 出資比率  | ホクレンくみあい飼料株式会社 70%<br>雪印種苗株式会社 30% |
| (6) 生産規模  | 牛用飼料 年産28万トン                       |
| (7) 操業開始  | 2021年12月                           |

いきます。

製造し、北海道の酪農・畜産の発展に貢献していきます。

ホクレンくみあい飼料(株)は、苫小牧市にある牛用配合飼料工場の老朽化が著しいことから、雪印種苗(株)との共同出資により、配合飼料の生産会社として新会社を設立し、同社苫小牧工場敷地内に牛用飼料の新工場を建設することとしました。

今回の合併会社設立は、酪農・畜産分野において、全農系飼料会社と工業系飼料会社が共同で出資する初めてのケースとなり、新会社は合併によるスケールメリットと最新鋭の製造設備を活かし、低コストで、安全・安心、高品質な飼料を

全農子会社のホクレンくみあい飼料株式会社と雪印種苗株式会社は1月30日、東京・大手町のJAビルで合併により配合飼料の製造を目的とした新会社を設立することに基本合意し契約締結式を開きました。

News!



# 県特産品をPRし西日本豪雨災害からの復興応援

## 東京の自民党本部で知事らが参加し「がんばろう広島 フェア」

広島県本部

広島血統和牛「元就」をPRする右から宮沢洋一自民党広島県連会長、湯崎県知事、岸田文雄政調会長、水永祐治県本部長



県産加工品のコーナーは多くの人でにぎわいました

島血統和牛「元就」の試食会を200食限定で行いました。元就の試食には長蛇の列ができ、大盛況でした。他にも「広島風お好み焼き」や、今が旬の「焼き牡蠣<sup>かき</sup>」、など広島を代表する食材の試食や日本酒の試飲も行いました。会場には、被災者支援のための義援金箱も設置し支援を募りました。

当日は、JAグループ広島として販売ブースと試食ブースを出展。販売ブースでは県産米や県内JAで作られたかんきつ加工品の販売を行い、試食ブースでは広

昨年7月に発生した西日本豪雨災害からの復興を目的とした「がんばろう広島く豪雨災害復興応援フェア」が1月23日、東京・永田町の自民党本部で行われました。特産品をPRすることで広島を元気にしようと企画された同イベントには、自民党執行部のほか湯崎英彦広島県知事など関係者が参加しました。





## ニューヨークの大使公邸で和食試食会

日本産の和牛を提供、出席者からお褒めの言葉いただく

全農アメリカ(株)

全農アメリカ株式会社は1月15日、米国ニューヨーク州の日本大使公邸で開かれた和食の試食会で、日本産の和牛を提供しました。

試食会には、著名フードライター※、報道関係者、飲食店経営者ら12人が出席しました。

山野内勘二在ニューヨーク総領事・大使より「日本産和牛の魅力をぜひ味わっていただきたい」とのあいさつがあった後、日本産和牛のステーキをはじめとする和食が提供されました。

出席者からは和牛について「脂の甘みが香り高く、舌の上でとろけるようだ」



和食試食会の出席者。左から5人目は山野内大使

「しっかりと火が通っているが、硬さがなく、米国産牛とは異なるテクスチャ（舌触り）が新鮮だ」などお褒めの言葉をいただきました。

全農アメリカ(株)は、2017年11月に食肉加工販売子会社P&Z FINE FOODSをロサンゼルス近郊に設立し、西海岸を中心とした和牛、日本産米の販路拡大に努めています。東海岸においても大使館JETROなどの支援を得ながら、引き続き日本産農畜産物の輸出拡大に努めていきます。

※フードライター…食に関する文章を書くことを職業とする人



試食会で振る舞われた和牛のステーキ



## TACを対象に作物別栽培技術研修を開催

千葉県本部営農技術センターでニンジン・キャベツで実施

耕種総合対策部

耕種総合対策部は、TACを対象に営農に関する更なる対応力強化を目指して、一昨年から作物栽培総合技術研修会を開催しています。その一環として、千葉県本部の営農技術センターで1月16～18日、作物別栽培技術研修を開きました。

研修会は、平塚で2回、県本部の営農拠点で1回、計3回の研修会で構成され、実習を中心に置き、専門的な知識の習得を目的としたカリキュラム構成で実施しています。

今回の研修会では、ニンジン・キャベツの栽培に特化した座学での研修と並行し、圃場での実習を行います。

ニンジン産地は機械化が進んでいますが、今回はあえて、収穫、洗浄、選別、箱詰めの作業を手作業で体験し、翌日は自動化されたJAの大規模集出荷施設で研修を行いました。担い手に向けて、実体験と深い営農知識に基づいた営農提案が出来るTACの育成を今後もサポートしていきます。



キャベツの品質調査



あえて手作業でニンジンの洗浄





和牛甲子園

# 飛騨高山高校が見事2連覇

## 第2回和牛甲子園で23校が熱い戦い

全農は1月17・18日、東京都港区の東京食肉市場などで、第2回和牛甲子園を開催しました。総合評価部門で飛騨高山高校（岐阜県）が最優秀賞に輝き、第1回大会に続いて2連覇を果たしました。

【畜産総合対策部】

和牛甲子園は、①将来の担い手への支援・就農意欲の向上②将来の担い手のネットワーク創出・

肥育技術の向上——を目的に、全国の高校で和牛を肥育している高校生（高校牛児）たちが、肉

質と取り組み内容を競い合う大会です。第2回大会には、前回を上回る23校が出場、28頭の和牛が出品され、熱い戦いを繰り広げました。

総合評価部門2連覇の飛騨高山高校は、取組評価で、高校の肉牛農場では全国初の畜産GAP（農業生産工程管理）を取得したことなどが評価され、枝肉評価でも脂の質が抜群と評価されました。同校の石井里佳さんは「前回優勝のプレッシャーがあったが、自分た

第2回和牛甲子園に出場した“高校牛児”の皆さん



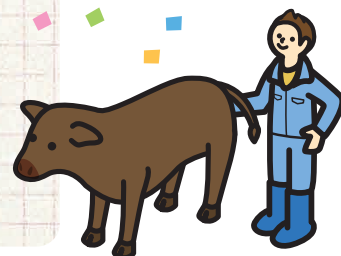
開会式で代表して選手宣誓を行う栃木農業高校の生徒達



褒賞式で挨拶する農林水産省生産局畜産部の富田育穂部長。今回新たに農林水産省に後援いただき、褒賞もいただきました



学校交流会では、名刺交換やお肉クイズ大会などで懇親を深めました





## 第2回和牛甲子園の結果

| 総合評価部門 | 最優秀賞(1校) | 岐阜県立 飛騨高山高等学校                                      |
|--------|----------|----------------------------------------------------|
| 取組評価部門 | 最優秀賞(1校) | 鹿児島県立 市来農芸高等学校                                     |
|        | 優秀賞(2校)  | 岩手県立 水沢農業高等学校<br>岐阜県立 飛騨高山高等学校                     |
|        | 優良賞(3校)  | 岐阜県立 加茂農林高等学校<br>長崎県立 諫早農業高等学校<br>鹿児島県立 鹿屋農業高等学校   |
| 枝肉評価部門 | 最優秀賞(1頭) | 鹿児島県立 曾於高等学校                                       |
|        | 優秀賞(2頭)  | 栃木県立 那須拓陽高等学校<br>岐阜県立 飛騨高山高等学校                     |
|        | 優良賞(3頭)  | 鹿児島県立 鹿屋農業高等学校<br>鹿児島県立 市来農芸高等学校<br>鹿児島県立 市来農芸高等学校 |

総合評価部門

最優秀賞

飛騨高山高校(岐阜県)



枝肉評価部門

最優秀賞

曾於高校(鹿児島県)



枝肉評価部門で最優秀賞を受賞した曾於高校(鹿児島県)の枝肉



取組評価部門

最優秀賞

市来農芸高校(鹿児島県)

取組評価部門で最優秀賞を受賞した市来農芸高校(鹿児島県)の発表



ちの努力が実りうれしい」と喜びました。

取組評価部門の最優秀賞は市来農芸高校(鹿児島県)。牛の生活環境、快適性への配慮を行っていることなどが評価されました。同校の中野美春さんは「自分たちの活動を分かりやすく、心に響くような発表ができるように練習を重ねた」と苦労を語りました。

枝肉評価部門の最優秀賞は、曾於高校(鹿児島県)。肉量に富み、脂肪交雑(サシ)に優れたことが評価されました。同校の川崎勇太郎さんは「生徒みんなで活動を作り上げ、愛情をもって接したことでこの結果が得られたと思う」と語りました。

## BS朝日「全農スペシャル 和牛・酪農にかけた青春(仮)」

BS朝日で、第2回和牛甲子園と、昨年9月7日に開かれた第36回全農酪農経営体験発表会の様子が放映されます。ぜひご覧ください。

放送日時は、Web版でお知らせします。

講演会では、第59回福島県農業・農林水産大臣賞を受賞した福島県の和牛生産者五十嵐貞雄さん(棚五十嵐ファーム)が「牛とのおつきあい」と題して高校生に熱いメッセージを送りました



枝肉勉強会では、出品した枝肉を見ながらレクチャーを受けました



News!



## 東京五輪に向けて勝負の年 変化おそれず成長を

石川佳純選手が全農を訪問し、意気込み語る

広報部



石川佳純選手を出迎えた全農グループ役職員

全農所属の卓球女子日本代表の石川佳純選手が、1月28日、東京・大手町の全農を訪れ、今年の活動について意気込みを語りました。

石川選手は、「2019年は2020年東京五輪に向けて勝負の年になる。変化していくことを恐れずに成長していけるように頑張りたい」と語りました。トークショーで司会から石川佳純（かすみん）カレーについて聞かれた際には、「友達にあげたりしており、すごくおいしいと喜ばれている」と答えた。

神出元一理事長は「国産の美味しいお肉、お米等を食べてパワーをつけて、頑張ってもらいたい」と激励しました。

全農は、「ニッポン人の活躍を『ニッポンの食』で支える。」をスローガンに、国産農畜産物を通じて、引き続き石川選手の選手活動をサポートしていきます。



トークショーで「石川佳純カレー」を紹介する石川選手

News!



## 「JA青年組織 絆プロジェクト」を通じて被災県青年組織を支援

エコープウェットタオルの売り上げの一部を寄付

生活リテール部

生活リテール部は、「JA青年組織 絆プロジェクト」の一環で、エコープウェットタオルをJA青年組織に供給しました。その売り上げの一部は西日本豪雨、地震などの被災県青年組織に寄付されます。

「JA青年組織 絆プロジェクト」は、JA青年組織（JA青年部、都道府県農協青年組織協議会、全国農協青年組織協議会）が、東日本大震災を契機に平成23年に立ち上げた被災地支援活動です。

このたび供給するエコープウェットタオルは、JA青年組織と共同開発し、昨年発売した商品で、アルコール不使用、大判（60×30センチ）、厚手で丈夫などの品質を実現し、農作業や介護の現場での体拭きにピッタリ



「JA青年組織 絆プロジェクト」に供給したエコープウェットタオル

で、災害でライフラインがストップし入浴が困難な時にも役立ちます。

昨年は西日本豪雨、地震や台風など災害が相次いだことから、「JA青年組織 絆プロジェクト」ではエコープウェットタオルの軒旋を通じて被災県青年組織の支援に取り組むこととなりました。その結果31年1月末までに177ケース（6万3720本）の注文が集まり、その売り上げの一部47万7900円が被災県青年組織に寄付されることとなりました。

また、都道府県青年組織の好意で、供給された商品の一部が、被災県青年組織に寄贈されます。

生活リテール部はこれからもJA青年組織と連携した取り組みを実施していきます。





# 6次産業化で高付加価値創造戦略

## 地域のニーズに応える取り組み推進

JA安芸は、都市近郊地域の強みを生かした6次産業化で付加価値を付けながら営農を持続できる仕組みを作り、農家所得の増大や地域の活性化への貢献を目指す取り組みをしています。

### 農家や関係者が力合わせ地ビール純米吟醸原酒

高付加価値創造戦略の一



手作業で行う刈り取りと坂町の伝統的作物「ムラサキ麦」(右下)



「ムラサキ麦」を原料の一部として使用した「広島ようようビール」

つ「広島ようようビール」は、管内の安芸郡坂町の伝統的作物「ムラサキ麦」を原料の一部として使用。栽培指導や担い手育成をJAが、地ビールの製造を(株)呉ビール、特産品開発支援を坂町、販売を(株)酒商山田とした4者で「麦作りから始めるプロジェクト」を立ち上げ、オリジナル地ビールが生まれました。

「ようよう」とは地元の方言で「ありがと」と

いう意味があります。

また、6次産業化の取り組みとしてJA安芸ブランドの日本酒「永遠の結」があります。管内で酒造好適米の「千本錦」を試験的に栽培し製造した純米吟醸原酒で、農家と地域、JAとの結び付きが永遠に続くことを願い命名しました。米作りから行い、安全・安心で「さいしょからさいごまで」こだわって作ったお米が生きている日本酒です。

JAは、今後も消費者ニーズに合った商品提供を行うため、生産者組織を通じた栽培技術の向上と高位平準化などで安定生産を可能とした、持続可能な農業と農家の所得向上を目指していきます。

### JA安芸(広島県)



坂支店近くで稼働するJA安芸移動金融店舗車両「ふれあい号」

### 移動金融店舗車両を稼働し豪雨被災地支援

JAは、昨年の西日本豪雨で甚大な被害を受け、3支店に土砂が流入し業務が行えない状況となりました。

特に坂地域の2支店の被害が大きく、坂支店はまだ業務が再開できず、仮営業として同地域の横浜支店に対応しています。JAは被災地の利便性の向上と生活・くらしを取り戻すため、

| 概要      |                                    | 平成 30 年 3 月 31 日現在 |
|---------|------------------------------------|--------------------|
| 正組合員数   |                                    | 6554人              |
| 准組合員数   |                                    | 2万5410人            |
| 職員数     |                                    | 243人               |
| 販売品取扱高  |                                    | 7千万円               |
| 購買品取扱高  |                                    | 12億4千万円            |
| 貯金残高    |                                    | 1294億5千万円          |
| 長期共済保有高 |                                    | 2641億1千万円          |
| 主な農産物   | 米、黒大豆、トウモロコシ、白ネギ、小松菜、ピーマン、キャベツ、トマト |                    |

移動金融店舗車両「ふれあい号」を稼働しています。被災当初は車両がなく、JA尾道市、JA三原、JA山口中央から1カ月ごとに車両を借り受けて稼働していましたが、昨年11月から新しく車両を導入し、稼働を続けています。Aコープ店の駐車場で月曜日から金曜日の午前9時30分～午後1時まで稼働し、当座性貯金の入出金、定期積金の受入、通帳記帳などの対応や融資相談などの各種相談業務、地域の困りごとなどのニーズに応える業務を行っています。

JAはこれからも組合員や地域の皆さまのくらしを守るため、地域のニーズに応え、全力を挙げて支援に努めていきます。



お米を食べて健康的にダイエット

# 「おにぎりダイエット +ウォーク」を公開

米穀部

JA全農は、国産米消費拡大に向けて、おにぎり食に運動を組み合わせた「おにぎりダイエットプログラム」を普及してきました。このたび、より手軽に取り組めるよう、「おにぎりダイエット+ウォーク」にプログラムをリニューアルしました。

このプログラムでは、毎日の食事におにぎりを取り入れて、摂取カロリーを適量にコントロール。おにぎり1個=約180kcalとし、おにぎりの個



数でカロリー調整をやすくしました。手軽に実践できる1日15分のウォーキングを組み合わせ、健康的にダイエットすることを目指します。

詳しい実践方法は、米消費拡大のポータルサイトで公開しています。自分に合ったおにぎりの個数が簡単に計算できるコーナーのほか、効果的なウォーキング方法を解説した動画や、おにぎり・おかずレシピ、実際に28日間このプログラムに取り組んだ



モニターの結果も紹介しています。

JA全農は、国産米の消費拡大を目的に、今後もさまざまな形でお米やごはんの魅力を発信していきます。

皆さん ぜひ実践してみてください!

米消費拡大ポータルサイト

NO RICE NO LIFE PROJECT

▶ URL: <https://noricenolife.jp/>

おにぎりダイエット  
特設サイトはこちら



## 「おにぎりダイエット+ウォーク」の 3ステップ

- STEP 1: 消費カロリーを知る
- STEP 2: おにぎりの個数を決める
- STEP 3: 1日15分歩く

食と農のWEBマガジン



Apron  
エプロン

Web限定の「レシピ検索」「菜園づくり」etc.  
ぜひご覧ください!

Webマガジンは  
こちらから

Apron Web

検索

<https://apron-web.jp/>



JAタウン  
ショップ紹介

JAタウン |

検索  
クリック

おらほの逸品館 (JA全農あきた)



JAタウンは  
こちらから



三関せり (100g×5束)  
.....2800円

「三関せり」の合言葉は「『根っこ』うまい根〜!」白く長く伸びた根が一番の特長です。しゃきしゃきとした歯触りと独特の風味が味わえ、葉はもちろん、根までおいしく食べることが出来ます。

産地の秋田県湯沢市三関地区は、豊富な地下水と清流水に恵まれ、古くからせりの栽培が行われてきました。

秋田の郷土料理「きりたんぼ鍋」など鍋料理をはじめ、香り良く色鮮やかな「三関せり」はおひたしにもピッタリ。ぜひ一度ご賞味くださいませ。料理レシピも一緒にお届けします。

なお、ご紹介した商品は、2/22(金)まで、FAXでもご注文を承ります(ご自宅宛代金引換のみ)。

【ご注文方法】①商品名、規格、数量②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号⑥FAX番号をご記入のうえ、FAX番号03-5218-2517までご送信ください。  
商品代金のほか、クール代、お届け先により送料が必要となります。

JA全農のインターネット  
ショッピングモール

▶ご注文は <http://www.ja-town.com>

▶お問い合わせは [shop@ja-town1.com](mailto:shop@ja-town1.com)

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。